

B チャレ（提案公募型協働事業）【令和元年度】報告書

提出日	令和 2 年 3 月 6 日	記入者	坂本 昌代
団体名	文京多言語サポートネットワーク ■任意団体 □NPO 法人 □企業 □その他()		
事業名	多言語による小学校就学ガイドブック作成		
協働団体	・ピナット～外国人支援ともだちネット～ ・株式会社カラーコード ・日本語指導協力員（団体とつながりのある文京区の方） ・学務課学事係 ・文京区社会福祉協議会 ・地域活動センター、区内図書館、アカデミー推進課、区立小学校		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	・自団体：ガイドブックの作成および連携依頼、小学校就学相談会の実施、団体 HP への掲載、区外への情報発信 ・ピナット：アドバイザー派遣 ・株式会社カラーコード：ガイドブックのレイアウト、デザイン ・日本語指導協力員：ガイドブックの内容についてヒアリング ・学務課学事係：外国人児童の学校手続き事務の情報提供、窓口で相談会チラシ配 架 ・文京区社会福祉協議会：合同校園長会での相談会周知 ・地域活動センター、図書館、アカデミー推進課、区立小学校：相談会チラシ配架		
担当者名	坂本 昌代	役職等	なし
部門 (1 か 2 いずれか ○)	① 地域活性化部門 2. 課題解決部門(いずれかに○) 1. 住民居住地域の活動へ参加するキッカケづくり (1) 在住歴の比較的短い住民が、地域活動にアプローチしやすくするための活動 (2) 高齢者の自主的な取り組みを支援する活動 (3) 高齢者を地域で見守る環境づくりにつながる活動 (4) 地域のつながりから防災意識の向上を目指した活動 (5) 受動喫煙防止に取り組む区内飲食店を支援する活動 2. 子どもを地域で支える取り組み (1) 区立小学校における通学中の安全を守る活動 (2) 不登校等で孤立しがちな児童・生徒を支える活動 (3) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (4) 18 歳に到達したことにより行政からの支援が終了するケース(虐待、不登校、引きこも り)等を引き続き地域で支援する活動		

	3. その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み
目的 地域のどんな課題を解決したいかを明記	現在文京区に住む外国人住民は 11,597 人（令和 2 年 2 月 1 日現在）、総人口の 5.1% まで増えている。単身で来日する留学生だけではなく、家族で滞在する外国人世帯もあるなか、文京区には通訳を配置した外国人相談窓口はなく、多言語による情報提供があるものも、必要な情報を得るのに苦労している外国人住民の存在がある。地域社会への入り口ともなる区立小学校のガイドブックを多言語で作成することにより、外国人住民も安心して暮らせる共生社会実現への一助となることを目指す。
事業内容	多言語による小学校ガイドブック作成。文京区在籍の外国人児童数を調査し、英語・中国語・やさしい日本語の 3 言語で作成することを決定。区内の現役小学生パパママ、既に日本での子育てを経験している先輩外国人パパママ、日本語指導協力員、小学校教員等の編集協力者を募り、「これさえ知っていれば安心して学校生活を始められる」という要点に絞ったガイドブックを作成した。 編集作業においては、既にガイドブック作成の経験がある区外の団体から担当者を招き、事例学習をした。また、作成したガイドブックを使って今後小学校就学相談会を行う予定。
協働団体 or 利用者の声	・ピナットが 10 年前に作成したものをベースに、よりニーズに沿った充実したものができて嬉しいです。これまで使いにくいと思っていたことや改善点なども共有し、反映してもらうことができました。文京区の外国人保護者や教員たちの役に立つだけでなく、さらに他の地域にも広がるといいな、と思います。志を同じくする仲間と協働することで、お互いの持っている経験や情報を交換する場ともなり、私も三鷹でがんばっていこう、と励まされる思いです。[ピナット代表 出口雅子さん] ・これがきっかけで日本に住んでいる中国人のために自分の力を出すことができ、私も嬉しかったです。ありがとうございました。[中国語翻訳担当 姜芳雨さん] ・とても詳しく、わかりやすく書かれていて、勉強になりました。私も子供が入学する前にこのようなガイドブックがあったらたすかったのだろうなと思いました。[中国ママ] ・きわめて重要だけれども普段なかなか手をつけられないことを実行に移すきっかけになりました。ささやかながら自分の取り組みが必要な人のもとへ届いて欲しいと心から願っています。[Web 担当、英語翻訳担当 川上智子さん] ・細かいところが網羅され、しかもボリュームも抑えられているところが、さすが、と思いました。困っている方に一人でも多く渡ることを、祈念します。 [区内小学校 指導員] ・有益な情報がとても分かりやすく書かれていると思います。[日本語教育研究者]
協働による効果	ガイドブックの翻訳編集作業、また事例収集を行う過程で、当初は予定していなかった様々な人となつながりを持つことができた。現役の大学生をはじめとする 20 代の人達を新たにメンバーに迎えられた事は視点の転換、また SNS を使ったの周知活動を行う上で大きな収穫であった。 また区内で長年活動している日本語ボランティア教室から外国人親子の情報を収集する過程で、区内の外国人児童が置かれている状況をより詳細に把握することがで

	き、また各日本語教室と双方向の関係を構築できたことは今後活動が続けていくにあたって極めて有益であると思われる。
事業成果 および 今後の活動予定	1. 文京区の実情に即したガイドブックの完成。 2. 編集作業を通じて、区内で外国人児童生徒の問題に取り組む団体や興味・関心を持つ人のネットワーク形成への一歩となった。 3. ガイドブックの編集作業を通じて、区民が地域の外国人住民への理解を深め、共生社会実現への一歩となった。 今後の活動予定 1. 多言語就学相談会を区内の公共施設において開催する。 2. 人口が急増する言語があれば、次年度以降の対応も検討する。

※別紙 1：事業スケジュール 報告

※別紙 2：収支決算報告

※別紙 3：関係者マップ 報告（提案時の内容と比較できる状態）

※追加別添 1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添 2：この事業の様子が分かる写真のデータ（10 枚以内）

別紙1:事業スケジュール 報告

作成日：令和2年3月6日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和元年度】

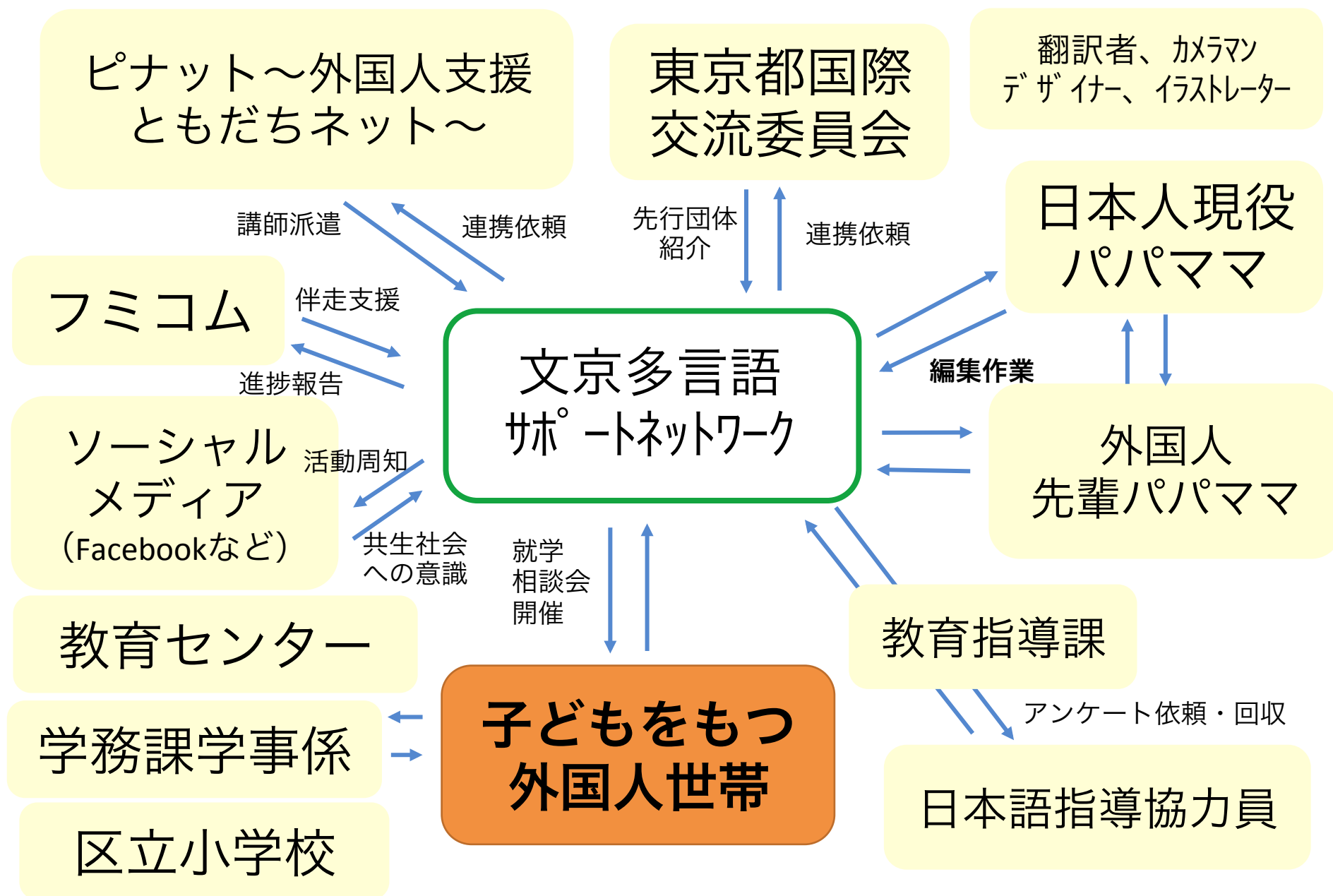
団体名： 文京多言語サポートネットワーク

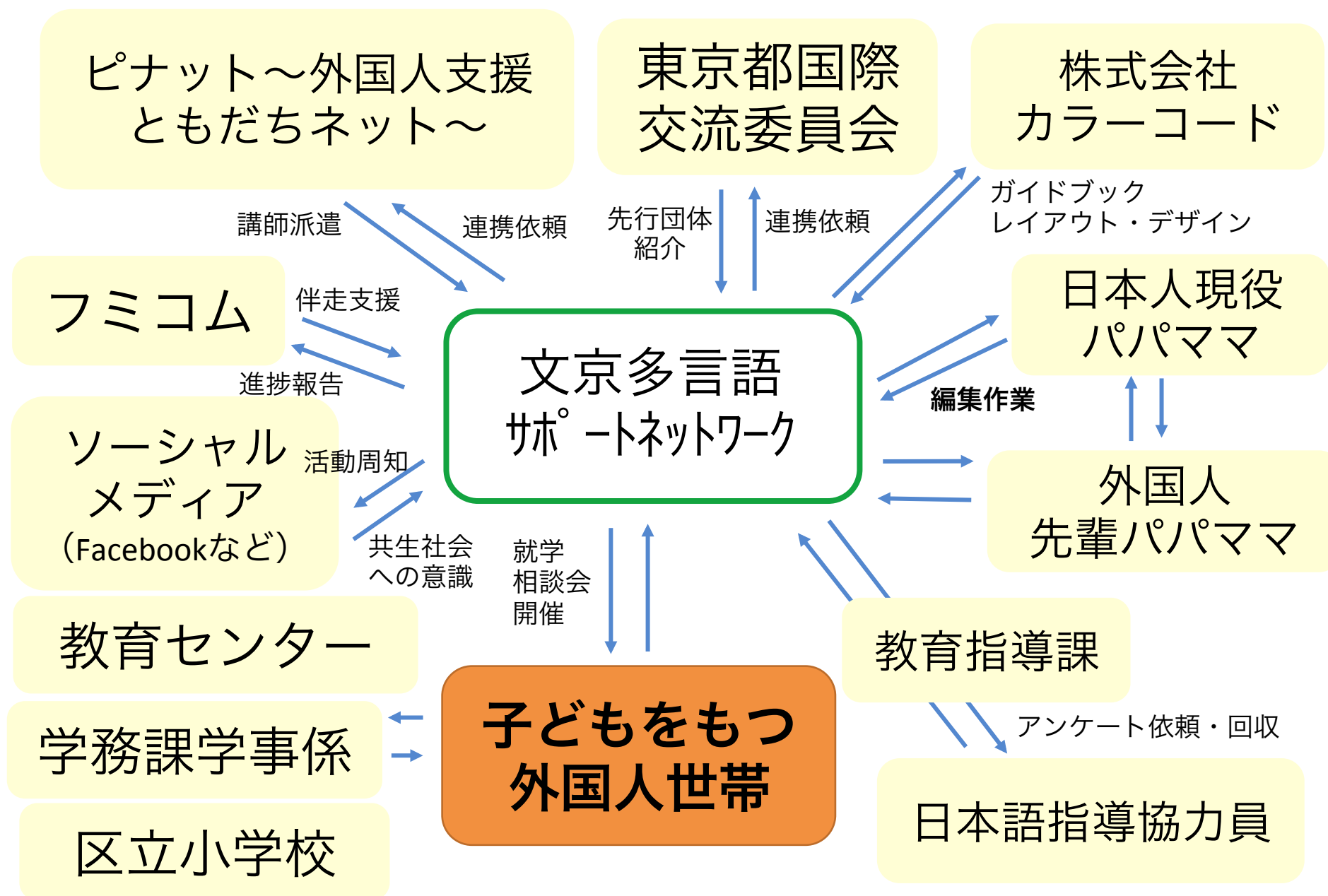
実施内容	平成31年					令和元年		令和2年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フミコムとの打合せ	打合せ	●15：企業貢献ネットワークで事業説明					●10	●1	定期的に打合せ・情報共有			
文京つながるメッセでの活動紹介								●16：活動見本市				
事例収集	他自治体の事例の収集				文京区							
企画会議（出口・坂本）	●8：会議1				●22：会議2	●2：会議3	●2：会議5					●22：会議6
企画会議（協力者を含む）		協力者募集、掲載事項の検討				元原稿作成						
								●16：翻訳担当者		●6：原稿・翻訳		
編集作業								●7,14,21：原稿推敲				
								翻訳作業				
				●23：カラーコード			●8：カラーコード	撮影、イラスト、デザイン、編集				
試作版配布、フィードバック収集							試作版配布、FB収集					
最終版作成、WEB版アップ							●16：Web担当者			周知活動		
就学相談会チラシ作成、開催周知活動								相談会チラシ作成配付				●9：説明会
							(10月下旬～11月上旬就学時健診)					
										(1月下旬～2月新入生説明会)		

収入	505,245 円	
費 目	予 算 額	積 算 根 拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
団体より支出	5,245 円	不足分補填
	円	

支出	505,245 円	
費 目	予 算 額	積 算 根 拠
編集会議費	120,000 円	アドバイザー謝礼2万円×6回
編集費	271,000 円	相談会チラシ及びガイドブックデザイン23万1千円、 編集作業、web作成謝礼 2万円×2人
翻訳費	100,000 円	@¥2000/p × 20p × 2言語、 ネイティブチェック謝礼@1万円×2
チラシ印刷費	3,240 円	チラシ印刷(A4片面カラー、1,000部)
チラシ郵送費	2,538 円	区内私立幼稚園、区立保育園@94円×27園
ガイドブック印刷費	0 円	製本せず、ウェブにて公開
就学相談会開催費	0 円	周知期間不足のため期間中に実施せず
その他	8,467 円	文具、通信費

その他費用内訳		
	摘要	金額
1	プリンターインク (canon BCI-351XL大容量タイプ)	6,650 円
2	A4プリンター用紙	1,382 円
3	チラシ郵送用定型封筒	435 円
		8,467 円





令和 2 年 2 月 27 日

社会福祉法人文京区社会福祉協議会
会 長 殿

文京区提案公募型協働事業 届出事項変更届

平成31年3月29日付け 30文社協発第1348号により交付決定を受けた令和元年度文京区提案公募型協働事業について、以下の理由により届出事項の変更承認を受けたく、申請します。

変 更 事 項	就学相談会開催時期の変更について
変 更 内 容	就学相談会の開催を、2月下旬から3月上旬へと変更する
変 更 理 由	当初予定していた新入生説明会や公共施設への周知が十分に行えなかったこと、一方で、2月の合同校園長会での説明する機会をいただけたことを踏まえ、より多くの方々に周知し、ご参加いただくためには、当初想定していた2月下旬での開催ではなく、Bチャレ事業期間外ではあるが、3月上旬での開催の方が適切だと判断した。

団 体 名 文京多言語サポートネットワーク

代 表 者 名

中原 順子



令和 2 年 2 月 27 日

社会福祉法人文京区社会福祉協議会
会 長 殿

文京区提案公募型協働事業 届出事項変更届

平成31年3月29日付け 30文社協発第1348号により交付決定を受けた令和元年度文京区提案公募型協働事業について、以下の理由により届出事項の変更承認を受けたく、申請します。

変 更 事 項	ガイドブック印刷・製本について
変 更 内 容	ガイドブックを当初は印刷・製本し、各小学校へ配付する予定であったが、Web上の公開のみに変更。
変 更 理 由	学校や保護者へのヒアリングを通じて、当初想定していたよりも多種多様な考えや悩みがあることが分かった。今後、関わっていく中でそうした声を適宜反映させていくためには、紙媒体ではなくWeb媒体の方が加筆修正がしやすく、適切だと判断した。

団 体 名 文京多言語サポートネットワーク

代 表 者 名

中原 順子



B チャレ（提案公募型協働事業）【令和元年度】報告書

提出日	令和 2 年 3 月 6 日	記入者	坂本 昌代
団体名	文京多言語サポートネットワーク ■任意団体 □NPO 法人 □企業 □その他()		
事業名	多言語による小学校就学ガイドブック作成		
協働団体	・ピナット～外国人支援ともだちネット～ ・株式会社カラーコード ・日本語指導協力員（団体とつながりのある文京区の方） ・学務課学事係 ・文京区社会福祉協議会 ・地域活動センター、区内図書館、アカデミー推進課、区立小学校		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	・自団体：ガイドブックの作成および連携依頼、小学校就学相談会の実施、団体 HP への掲載、区外への情報発信 ・ピナット：アドバイザー派遣 ・株式会社カラーコード：ガイドブックのレイアウト、デザイン ・日本語指導協力員：ガイドブックの内容についてヒアリング ・学務課学事係：外国人児童の学校手続き事務の情報提供、窓口で相談会チラシ配 架 ・文京区社会福祉協議会：合同校園長会での相談会周知 ・地域活動センター、図書館、アカデミー推進課、区立小学校：相談会チラシ配架		
担当者名	坂本 昌代	役職等	なし
部門 (1 か 2 いずれか ○)	① 地域活性化部門 2. 課題解決部門(いずれかに○) 1. 住民居住地域の活動へ参加するキッカケづくり (1) 在住歴の比較的短い住民が、地域活動にアプローチしやすくするための活動 (2) 高齢者の自主的な取り組みを支援する活動 (3) 高齢者を地域で見守る環境づくりにつながる活動 (4) 地域のつながりから防災意識の向上を目指した活動 (5) 受動喫煙防止に取り組む区内飲食店を支援する活動 2. 子どもを地域で支える取り組み (1) 区立小学校における通学中の安全を守る活動 (2) 不登校等で孤立しがちな児童・生徒を支える活動 (3) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (4) 18 歳に到達したことにより行政からの支援が終了するケース(虐待、不登校、引きこも り)等を引き続き地域で支援する活動		

	3. その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み
目的 地域のどんな課題を解決したいかを明記	現在文京区に住む外国人住民は 11,597 人（令和 2 年 2 月 1 日現在）、総人口の 5.1% まで増えている。単身で来日する留学生だけではなく、家族で滞在する外国人世帯もあるなか、文京区には通訳を配置した外国人相談窓口はなく、多言語による情報提供があるものも、必要な情報を得るのに苦労している外国人住民の存在がある。地域社会への入り口ともなる区立小学校のガイドブックを多言語で作成することにより、外国人住民も安心して暮らせる共生社会実現への一助となることを目指す。
事業内容	多言語による小学校ガイドブック作成。文京区在籍の外国人児童数を調査し、英語・中国語・やさしい日本語の 3 言語で作成することを決定。区内の現役小学生パパママ、既に日本での子育てを経験している先輩外国人パパママ、日本語指導協力員、小学校教員等の編集協力者を募り、「これさえ知っていれば安心して学校生活を始められる」という要点に絞ったガイドブックを作成した。 編集作業においては、既にガイドブック作成の経験がある区外の団体から担当者を招き、事例学習をした。また、作成したガイドブックを使って今後小学校就学相談会を行う予定。
協働団体 or 利用者の声	・ピナットが 10 年前に作成したものをベースに、よりニーズに沿った充実したものができて嬉しいです。これまで使いにくいと思っていたことや改善点なども共有し、反映してもらうことができました。文京区の外国人保護者や教員たちの役に立つだけでなく、さらに他の地域にも広がるといいな、と思います。志を同じくする仲間と協働することで、お互いの持っている経験や情報を交換する場ともなり、私も三鷹でがんばっていこう、と励まされる思いです。[ピナット代表 出口雅子さん] ・これがきっかけで日本に住んでいる中国人のために自分の力を出すことができ、私も嬉しかったです。ありがとうございました。[中国語翻訳担当 姜芳雨さん] ・とても詳しく、わかりやすく書かれていて、勉強になりました。私も子供が入学する前にこのようなガイドブックがあったらたすかったのだろうなと思いました。[中国ママ] ・きわめて重要だけれども普段なかなか手をつけられないことを実行に移すきっかけになりました。ささやかながら自分の取り組みが必要な人のもとへ届いて欲しいと心から願っています。[Web 担当、英語翻訳担当 川上智子さん] ・細かいところが網羅され、しかもボリュームも抑えられているところが、さすが、と思いました。困っている方に一人でも多く渡ることを、祈念します。 [区内小学校 指導員] ・有益な情報がとても分かりやすく書かれていると思います。[日本語教育研究者]
協働による効果	ガイドブックの翻訳編集作業、また事例収集を行う過程で、当初は予定していなかった様々な人となつながりを持つことができた。現役の大学生をはじめとする 20 代の人達を新たにメンバーに迎えられた事は視点の転換、また SNS を使ったの周知活動を行う上で大きな収穫であった。 また区内で長年活動している日本語ボランティア教室から外国人親子の情報を収集する過程で、区内の外国人児童が置かれている状況をより詳細に把握することがで

	き、また各日本語教室と双方向の関係を構築できたことは今後活動が続けていくにあたって極めて有益であると思われる。
事業成果 および 今後の活動予定	1. 文京区の実情に即したガイドブックの完成。 2. 編集作業を通じて、区内で外国人児童生徒の問題に取り組む団体や興味・関心を持つ人のネットワーク形成への一歩となった。 3. ガイドブックの編集作業を通じて、区民が地域の外国人住民への理解を深め、共生社会実現への一歩となった。 今後の活動予定 1. 多言語就学相談会を区内の公共施設において開催する。 2. 人口が急増する言語があれば、次年度以降の対応も検討する。

※別紙 1：事業スケジュール 報告

※別紙 2：収支決算報告

※別紙 3：関係者マップ 報告（提案時の内容と比較できる状態）

※追加別添 1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

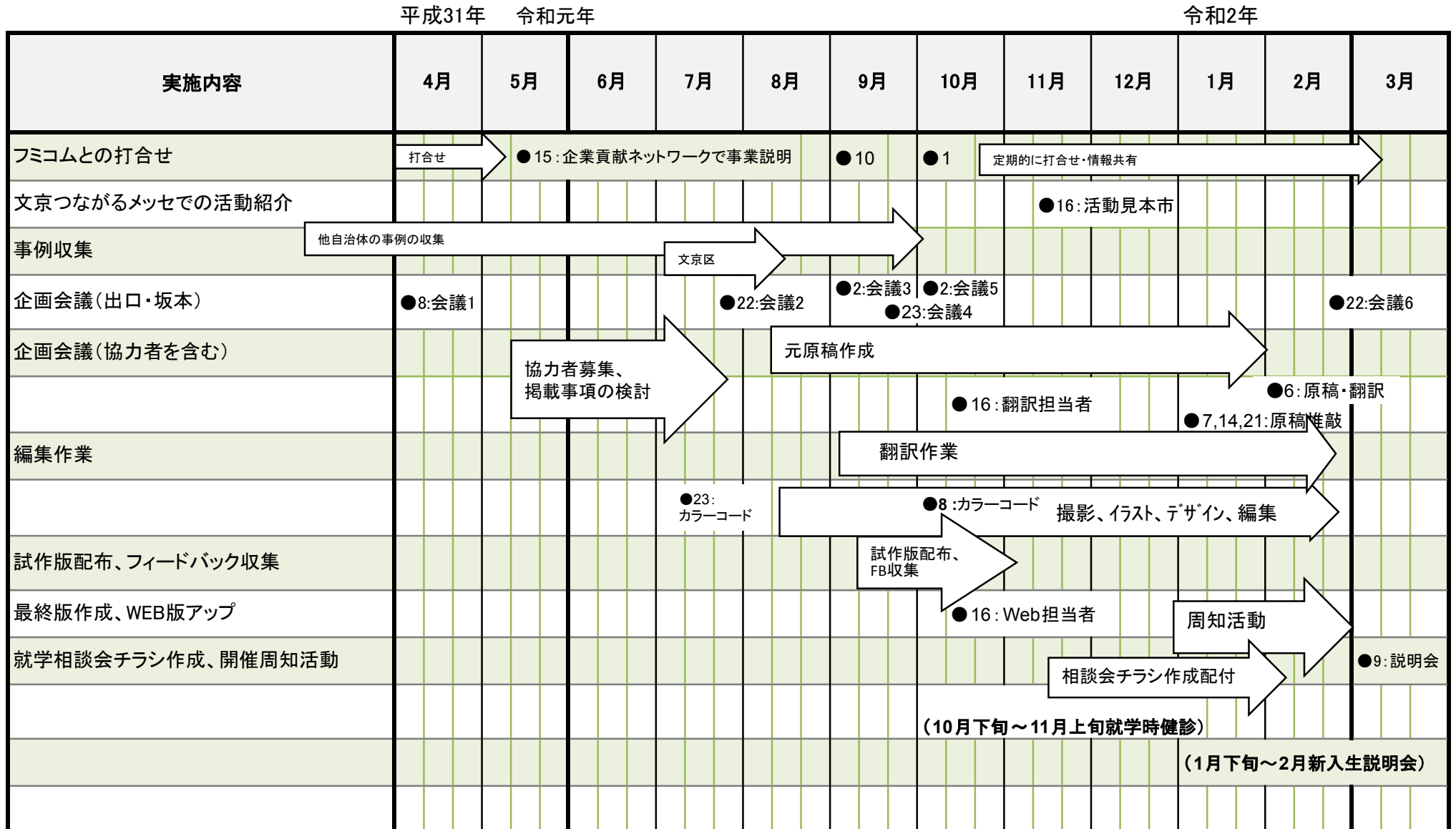
※追加別添 2：この事業の様子が分かる写真のデータ（10 枚以内）

別紙1:事業スケジュール 報告

作成日: 令和2年3月6日

Bチャレ(提案公募型協働事業)【令和元年度】

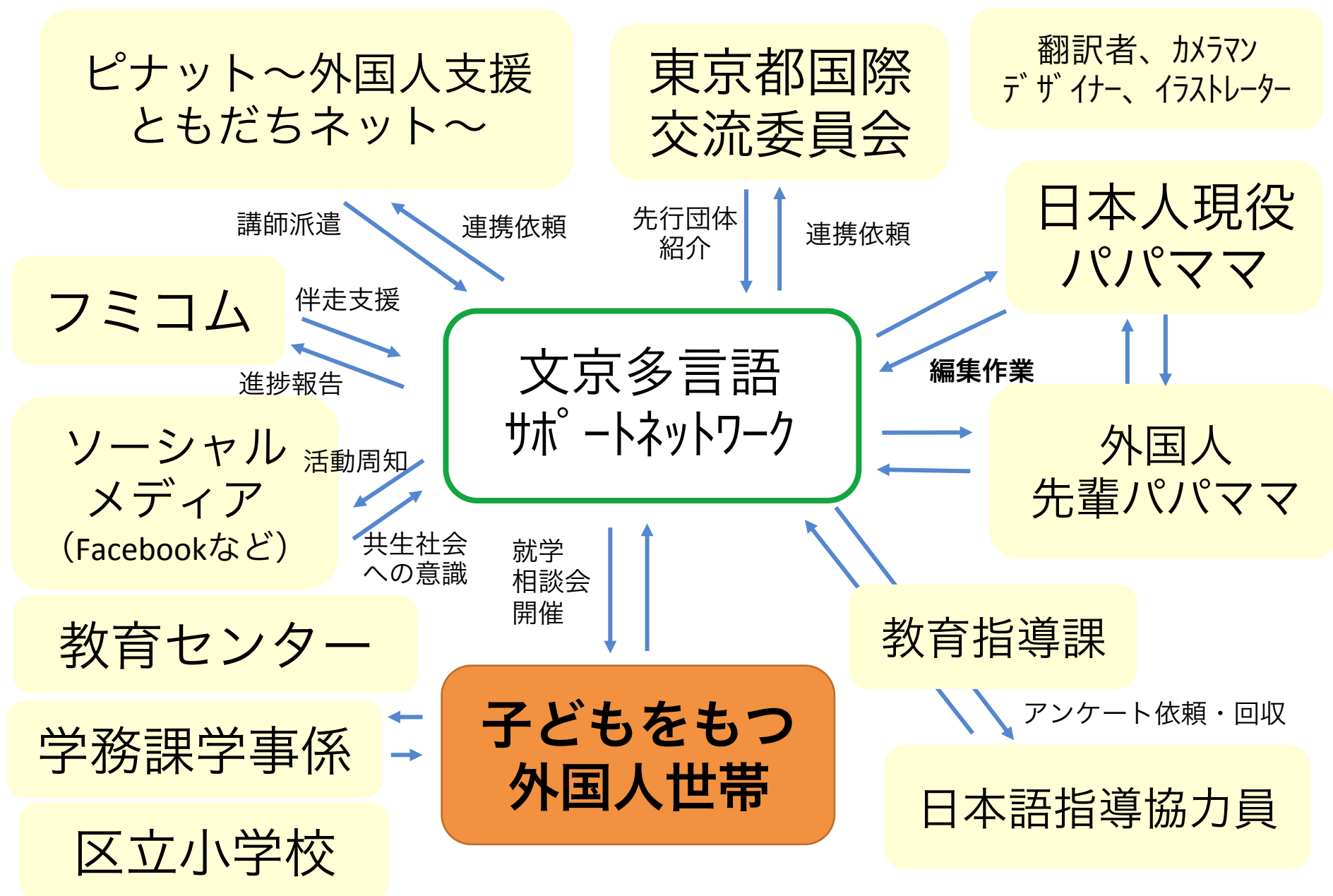
団体名: 文京多言語サポートネットワーク

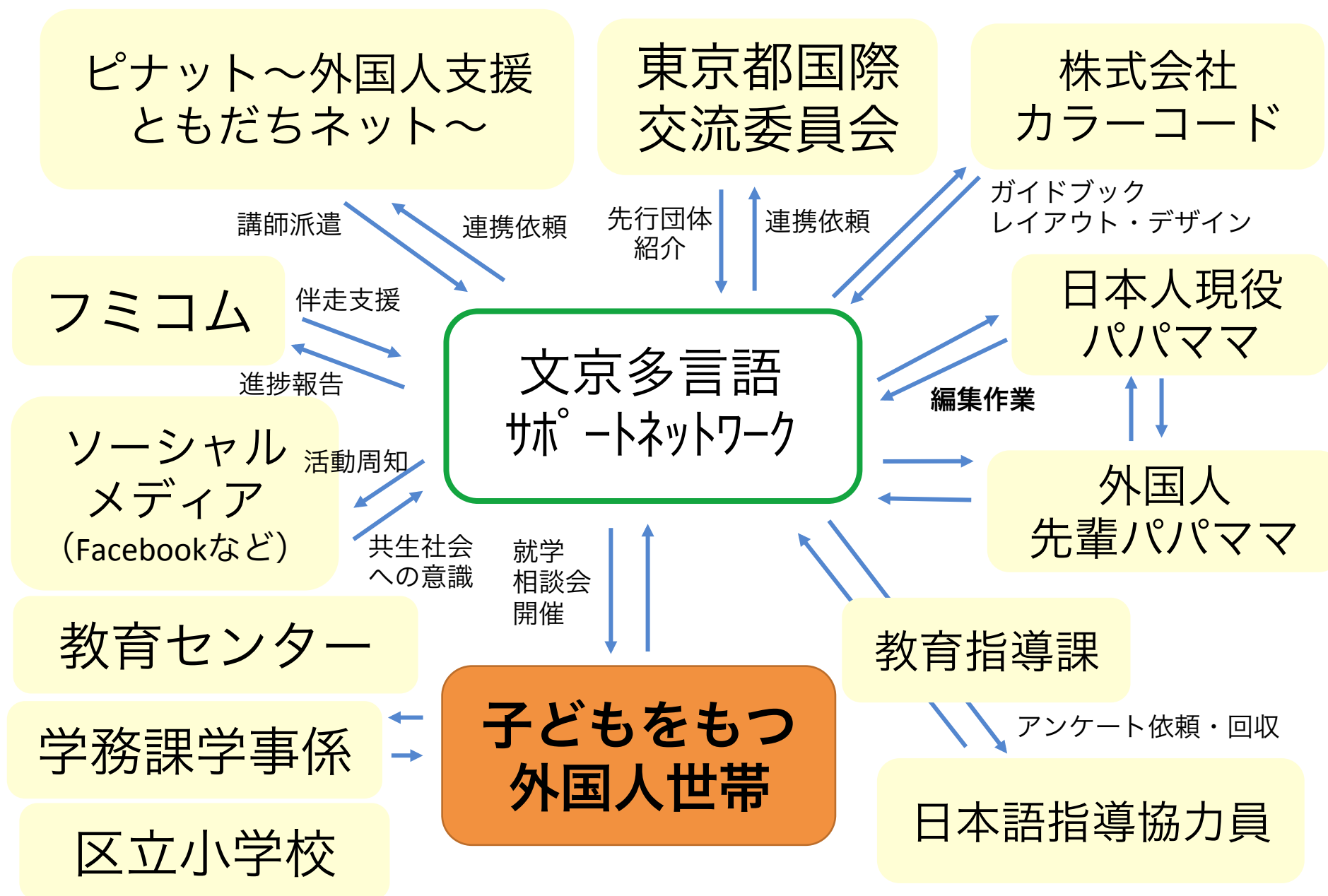


収入		505,245 円
費 目	予 算 額	積 算 根 拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
団体より支出	5,245 円	不足分補填
	円	

支出		505,245 円
費 目	予 算 額	積 算 根 拠
編集会議費	120,000 円	アドバイザー謝礼2万円×6回
編集費	271,000 円	相談会チラシ及びガイドブックデザイン23万1千円、 編集作業、web作成謝礼 2万円×2人
翻訳費	100,000 円	@¥2000/p × 20p × 2言語、 ネイティブチェック謝礼@1万円×2
チラシ印刷費	3,240 円	チラシ印刷(A4片面カラー、1,000部)
チラシ郵送費	2,538 円	区内私立幼稚園、区立保育園@94円×27園
ガイドブック印刷費	0 円	製本せず、ウェブにて公開
就学相談会開催費	0 円	周知期間不足のため期間中に実施せず
その他	8,467 円	文具、通信費

その他費用内訳		金額
1	プリンターインク (canon BCI-351XL大容量タイプ)	6,650 円
2	A4プリンター用紙	1,382 円
3	チラシ郵送用定型封筒	435 円
		8,467 円





令和 2 年 2 月 27 日

社会福祉法人文京区社会福祉協議会
会 長 殿

文京区提案公募型協働事業 届出事項変更届

平成31年3月29日付け 30文社協発第1348号により交付決定を受けた令和元年度文京区提案公募型協働事業について、以下の理由により届出事項の変更承認を受けたく、申請します。

変 更 事 項	就学相談会開催時期の変更について
変 更 内 容	就学相談会の開催を、2月下旬から3月上旬へと変更する
変 更 理 由	当初予定していた新入生説明会や公共施設への周知が十分に行えなかったこと、一方で、2月の合同校園長会での説明する機会をいただけたことを踏まえ、より多くの方々に周知し、ご参加いただくためには、当初想定していた2月下旬での開催ではなく、Bチャレ事業期間外ではあるが、3月上旬での開催の方が適切だと判断した。

団 体 名 文京多言語サポートネットワーク

代 表 者 名

中原 順子



令和 2 年 2 月 27 日

社会福祉法人文京区社会福祉協議会
会 長 殿

文京区提案公募型協働事業 届出事項変更届

平成31年3月29日付け 30文社協発第1348号により交付決定を受けた令和元年度文京区提案公募型協働事業について、以下の理由により届出事項の変更承認を受けたく、申請します。

変 更 事 項	ガイドブック印刷・製本について
変 更 内 容	ガイドブックを当初は印刷・製本し、各小学校へ配付する予定であったが、Web上の公開のみに変更。
変 更 理 由	学校や保護者へのヒアリングを通じて、当初想定していたよりも多種多様な考えや悩みがあることが分かった。今後、関わっていく中でそうした声を適宜反映させていくためには、紙媒体ではなくWeb媒体の方が加筆修正がしやすく、適切だと判断した。

団 体 名 文京多言語サポートネットワーク

代 表 者 名

中原 順子

